

FK Wire Flexible Duct

FK ワイヤフレキ



FK ワイヤーフレキ



製品用途 一般空調換気用

製品仕様 国土交通大臣認定
不燃材料: NM-5786-1

構成材料

- アルミ合金箔
- ポリエチレンテレフタレート (PET) フィルム
- ワイヤー (全サイズ 18mmピッチ)
- 接着剤

メーカー試験値、データ、認定等

1 最大静圧*	+2500Pa
2 最大通過風速*	30m/s
3 温度範囲*	-10℃～+90℃
4 最小曲げ半径	R=1/2
5 国土交通大臣認定不燃材料	認定番号 NM-5786-1

*製品の用途は一般空調用となります。上記表1～3は試験結果範囲内の数字となりますので、上限下限値での使用を保証するものではありません。

FEATURES

FK ワイヤーフレキの特長

01 不燃認定取得



安全性・法規対応を満たした不燃認定製品です。

02 優れた耐久性・強度・柔軟性

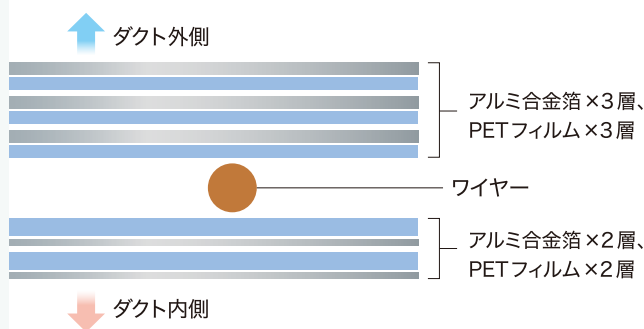


アルミ合金とPETフィルムの材料構成により、軽量性・柔軟性に加え、高い耐久性と強度を実現しています。

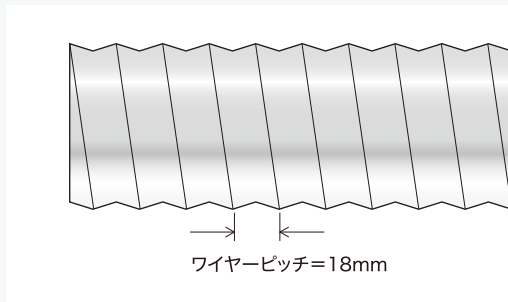
03 アルミ箔+PETフィルム 10層構造

アルミ箔とPETフィルムを貼り合わせた10層の積層構造を採用。軽量性・柔軟性に加え、不燃性、耐熱性、機械的強度(引張・折り曲げ強度)に優れています。

【主要部分材料断面図】

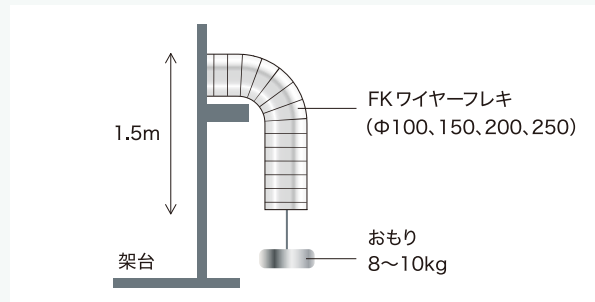


04 優れた形状安定性



材料構成に加え、ワイヤーピッチを18mmとすることで、高い形状安定性を実現しました。

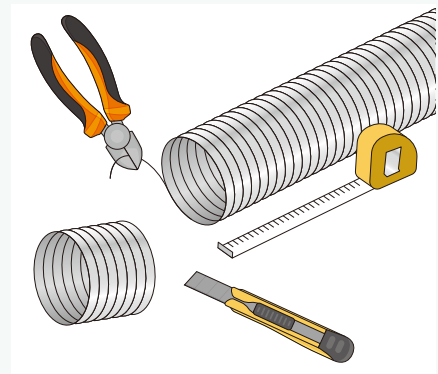
05 当社比最高レベルの 接着強度と耐久性



自社基準による吊り下げ試験を実施し、曲げ部・直管部ともに接着強度および破断耐性を確認しています。構造の一体性に優れ、高い接着強度と耐久性を実現しています。

06 保管・運搬・施工効率の向上に貢献

10m製品を圧縮梱包することで、約70~95cmのコンパクトサイズを実現。省スペースでの保管・運搬が可能です。
シングルワイヤー構造を採用することで、ダクト切断時の作業負担を軽減。高強度な材料構成でありながら、ニッパーとカッターによる容易な切断・長さ調整が可能です。



OPTIONS

アクセサリ

アルミテープ



フレキシ施工用アルミテープ

- ツヤ無し
- 公共建築工事標準仕様適合品

〈サイズ〉

テープ幅(mm)	長さ(m)
50	25
50	50
75	50
100	50

パッチンロック



フレキシ施工用部材

- ボルト、ナット不要
- 指3本で簡単取付
- 施工時間の大幅短縮

パッチンフック



フレキシ施工用部材

- 全ねじの簡単取付
- ナットが不要
- 施工時間の大幅短縮

B バンド



フレキシ締付けバンド

- φ75~400対応

ワイドバンド



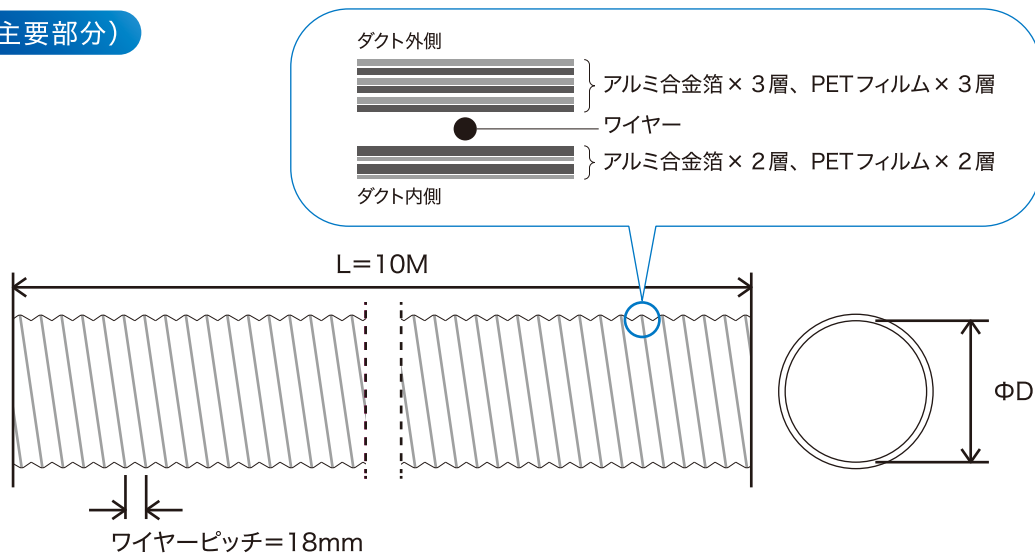
フレキシ吊下げ樹脂系バンド

- 幅: 50mm
- 板厚: 1.0mm
- 材質: HDPE高密度ポリエチレン
- 長さ: 50(m)巻き商品

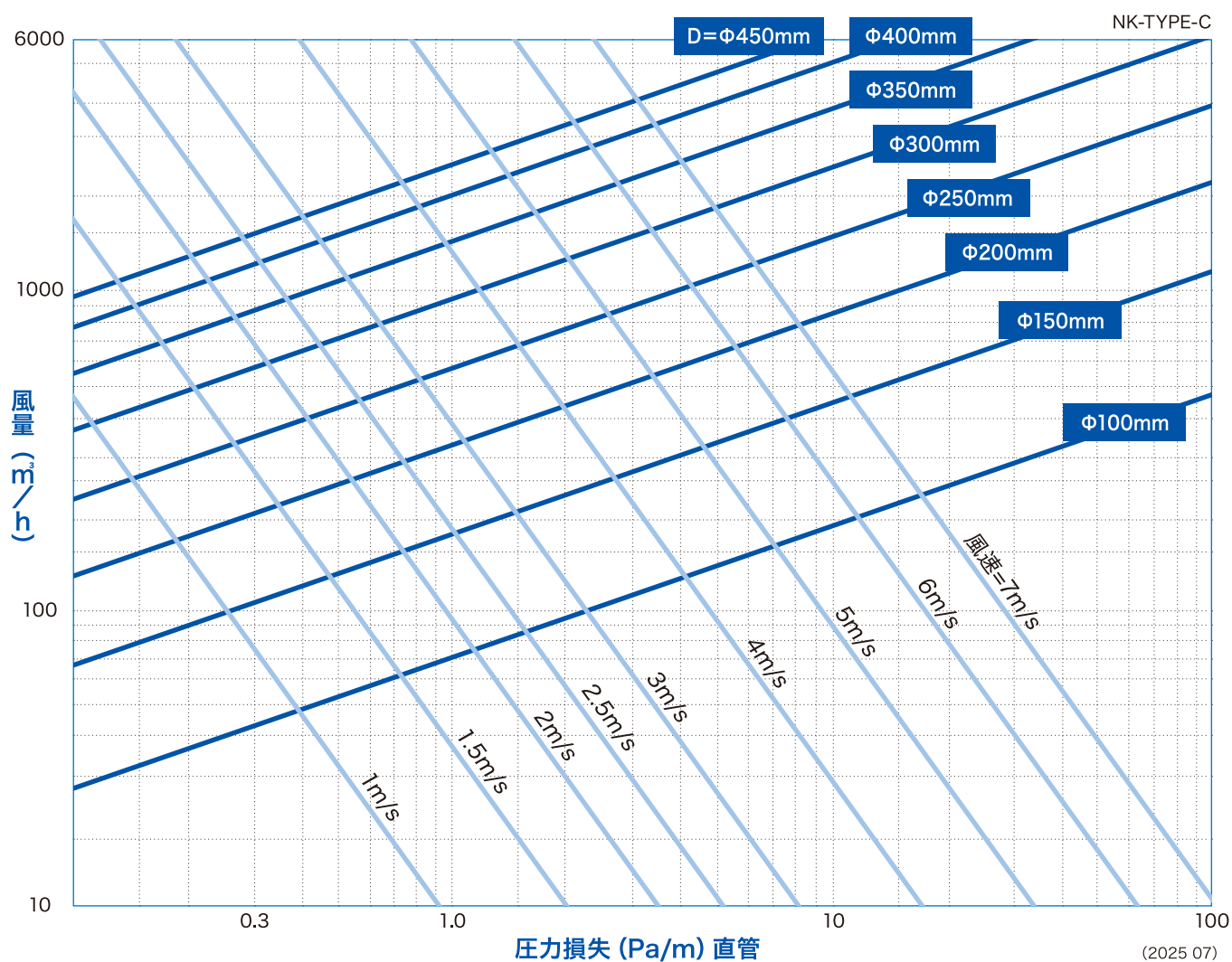
サイズ表

呼び径 (ΦD)	Φ50	Φ75	Φ100	Φ125	Φ150	Φ175	Φ200	Φ225	Φ250	Φ275	Φ300	Φ350	Φ400	Φ450
ワイヤー径	Φ0.8mm					Φ1.0mm						Φ1.2mm		
長さ	定尺 10M (梱包時は圧縮し、個別段ボール梱包となります)													

断面図 (主要部分)



圧力損失図 (FK ワイヤーフレキ)



FK ワイヤアルミフレキ 施工資料

【製品タイプ】
ワイヤアルミフレキ

【保管上の注意点】 運搬・保管・取付時は、ダクトを濡らしたり、汚損・破損させないように注意してください。保管時は、直射日光や高温多湿を避け、屋内で保管してください。

図1

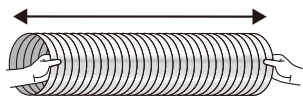


図2

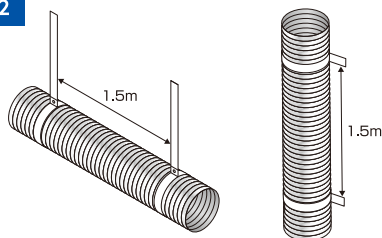


図3

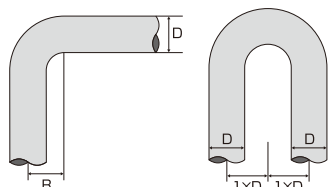


図4

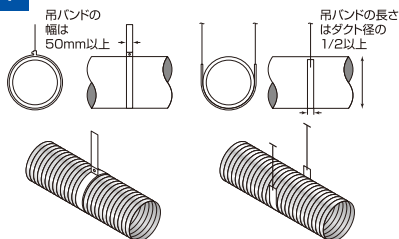


図5

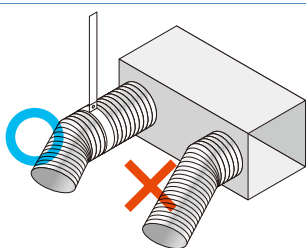


図6

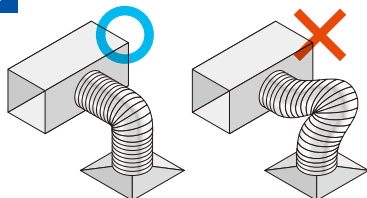
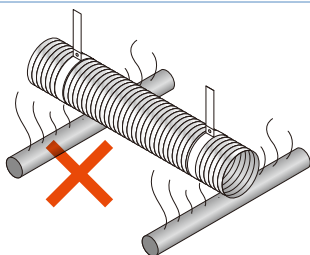


図7



■下記の各注意点を確認し施工してください。

- 1 / 製品用途および性能範囲内でご使用ください。
- 2 / ダクト取り扱い時は保護具を着用し、端部・ワイヤー・工具などによる怪我に十分注意して作業してください。
- 3 / 梱包に表示記載されているサイズをご確認ください。
- 4 / 梱包からダクトを取り出し、使用する長さまで十分に伸ばしてから施工してください。【図1参照】
この時、床や地面との接触によるダクト表面の破損に注意してください。
- 5 / 必要な長さを確認し、ニッパー、カッター等を使用してダクトを切ります。
- 6 / ダクトはできる限り直線状態で取り付けてください。水平施工時は、たるみのない状態で取り付けてください。また、吊り間隔は1～1.5m以内を目安に支持してください。【図2参照】
縦方向施工を行う場合は、9の施工条件に従ってください。
- 7 / ダクトを曲げて使用する場合は、十分に伸ばしてから施工してください。急激な曲げを避け、曲げ部はダクト径以上の長さを確保してください。また、U字施工は避けてください。やむを得ず施工する場合は、片側中心から反対側中心までの距離をダクト径の2倍以上確保してください。【図3参照】
- 8 / 吊バンド（幅50mm以上推奨）は、ダクト外周の半周以上が接触するものを使用してください。また、吊バンドはダクトを破損させない材質・形状のものを使用してください。
金属製バンド等、ダクトを傷付けるおそれのあるものは使用しないでください。【図4参照】
- 9 / 接続部には吊バンドを使用し、自重による接続部破損を防止してください。【図5参照】
縦方向に施工する場合は、長さ5m以内、1～1.5m間隔で支持してください。
接続部は十分に伸ばし、曲げを少なくして施工してください。
曲げ部が大きい場合や過度な変形は、騒音や圧力損失の原因となります。【図6参照】
- 10 / ダクトとニップル・スパイラル等の接続部分は、ダクト固定箇所にはダクトテープまたはアルミテープを1巻きしてから、ワッシャー付ビスをワイヤーに掛けて固定するか、ダクト用固定バンドで固定してください。
ワッシャー付ビスで固定する場合は、ダクト下端へのビス打ちは行わないでください。
固定後は、ひき裂け防止および空気漏れ防止のため、継ぎ目部分を含め、アルミテープまたはダクトテープをさらに2巻き以上巻き付けてください。
- 11 / ダクトが温度の高いパイプや他の機器と接触しないようにしてください。【図7参照】

その他 /

- ▶ 分解・改造して使用しないでください。
- ▶ ダクトが常時高湿度の空気や蒸気にさらされる場所では使用しないでください。
- ▶ ダクトは必要以上に繰り返し伸縮させないでください。
- ▶ 施工時および施工後は、工具等による傷付けや、物を載せないよう注意してください。
- ▶ 火が直接ダクトに接触する環境では使用しないでください。（暖炉の煙突など）

